

第6回 第7次NACCS更改専門部会 議事要旨

1. 日時：2024年1月18日（木）13:30~15:00
2. 場所：ベイサイドホテル アジュール竹芝 16階 「曙」及びオンライン開催
(Microsoft Teams)
3. 出席者：別紙の通り
4. 議事の概要
 - (1) 議題1 第7次NACCS詳細仕様案
 - 議事資料1に基づき、事務局より説明を行った。
 - 今までの説明会は各社2名程度の参加者が全ての内容を聞かなければならなかったが、今後開催される詳細仕様説明会においては、他法令やEDI等、各分野別にパートを分けた開催にできると各社の担当者が参加でき、より良い説明会になると考えている。（委員）
⇒ご意見については承知した。NACCS掲示板にはパートごとに詳細説明会資料を掲載しているのでそちらもご活用いただきたい。（事務局）
 - 輸入申告項目に「国内運送先」を追加する件について、通関業会支部で説明した際に、どの程度の情報を入力すべきなのかといった運用面の懸念が多くあった。この点について今後運用を詰める機会があるのか、通関業会が税関官署と調整すべき案件となるのか伺いたい。（委員）
⇒詳細仕様説明の場で運用面まで踏み込んだ説明をすることは想定していない。関税局様、税関様で検討中と伺っているので、税関様から案内があるまでお待ちいただきたい。（事務局）
 - 電文等のより詳細な仕様書について、ベンダーに提供する必要があるので公開がいつ頃になるのかご教示願いたい。また、要望になるが、参加者はコメントできなくても構わないのでウェビナー形式で説明会を開催できないか。（委員）
⇒電文等の詳細な仕様については本年3月に公開を予定している。ウェビナーについて、説明会は民間会場を借りて開催している都合上、設備的に難しい場合もあるが、貴重なご意見として参考にさせていただく。
(事務局)
 - 第7次NACCSの更改日はいつになるのか。また、これから総合運転試験

が始まると、テスト用のダミーデータが提供されると思うが、通常業務の傍らでテストをするというのが難しい状況である。また、ダミーデータを各業者がどう使えばいいかわからないというのが実情だと思っている。船会社、CY、保税蔵置場、通関業者がどうやってダミーデータの貨物情報を利用していけば良いか、フォローいただけるような環境を作っていたらスムーズにテストが行えるのではないかと考えている。

(委員)

⇒プログラム製造の都合から第7次NACCSの更改日はまだ確定していないが、第7次NACCSで改変を予定している制度改正案件の施行日が2025年10月12日であることから、目安としていただきたい。総合運転試験については、上流から下流まで情報を流すようなシナリオを作った試験もあるが、分かりやすい試験となるよう検討していく。(事務局)

- 今回の更改では見送りになった修正申告の効率化について、検討された際には社内でも便利になると期待されていた。見送りの理由は混乱を招く恐れがあるということだったが、第8次NACCSでは攻めた姿勢で仕様検討する場面があっても良いと思う。(委員)

⇒貴重なご意見として次の検討に活かしていきたい。(事務局)

(NACCSセンター 会議後追記)

今回見送りとなった主たる要因は、税関側のシステム開発規模が当初想定より大きくなり対応が困難となったため、実施見送りとなった。

- 包括保険及びリアルタイム口座については、2021年度のプログラム変更により、JASTROコードを利用しなくても法人番号による対応が可能となったが、第7次NACCS更改後においてJASTPROコードを利用しないと、NACCS上利用することができない業務又は機能があるか。海上小口貨物における簡易通関の導入については、関税局での制度改正に係るものであるが、詳細仕様で説明された内容は関税局の方針に基づき設計されたものか、また、制度の内容について関税局がまだ方針を示していない部分があるか。(委員)

⇒通関業者様においては、JASTPROコードに限定される内容は業務としては残っていないが、機能としては名称・住所の補完は法人番号とJASTPROコードが紐づいていないとできない状況である。また、輸出入者様はJASTPROコードが必要となる業務が残っている。

海上小口貨物における簡易通関の導入については、関税局様、税関様も含めて検討しているので、方針が反映された内容である。（事務局）

5. 連絡事項

- 会議終了後にメールでアンケートを送付させていただくので、2月1日を目途にご回答いただきたい。

以上